

第3次沖縄県観光振興計画の概要図

(計画期間:平成20年度～23年度)

資料7-2

沖縄観光の現状と課題

<p>1 入域観光客数 好調に推移 H13:443万人 H19:587万人 外国人観光客は減少(同20万人 同17万人)</p> <p>2 観光消費額 観光客の県内消費額は減少。 H13:76千円 H19:72千円(見込み)</p>	<p>1 質の高い沖縄観光の実現 体験・滞在型観光や離島観光の推進など、平均滞在日数の延伸に重点をおいた施策を展開</p> <p>2 国際観光の推進 受入体制の整備 マーケティング調査に基づく旅行商品開発 戦略的なプロモーションの展開</p>
--	---

観光振興の基本方向と施策の展開

[新] = 計画に新たに位置づけた施策

<h3>1 国際的海洋性リゾート地の形成</h3>	
<p>(1) 観光まちづくりの増進 観光まちづくりの推進[新] 沖縄らしい風景づくり[新]等</p> <p>(2) 観光地の魅力の増進 観光振興地域制度を活用した観光関連施設の集積促進 観光リゾート拠点の創出と新たな展開等</p> <p>(3) 観光客の移動の円滑化 国内外航空路線網の拡充 航空運賃の引き下げに係る措置の活用等</p> <p>(4) 公共施設の整備 道路、都市公園の整備 那覇空港、離島空港・港湾、旅客船バース等の整備等</p>	<p>観光振興地域の指定(現18地域 17地域) [新規指定地域] ・マリンタウンリゾート地域</p> <p>[拡充する地域] ・金武湾海洋性リゾート地域</p> <p>[指定しない地域] ・川平地域 ・伊是名島・尚円王夢航海リゾート地域</p> <p>(5) 持続可能な観光地づくりの推進 持続可能な観光地づくりの推進[新] 赤土等流出防止条例に基づく規制等</p>
<h3>2 国民の総合的な健康保養の場の形成と体験・滞在型観光の推進</h3> <p>(1) 健康保養型観光の推進 健康保養型観光の推進 森林療法(セラピー)の推進等</p> <p>(2) エコツーリズムの推進 エコツーリズムの推進 自然公園等の施設整備等</p> <p>(3) グリーンツーリズム等の推進 農林漁業体験施設の整備 都市・農村漁村交流の推進と人材育成</p> <p>(4) 文化交流型観光の推進 世界遺産、文化施設等の活用促進 沖縄空手交流の推進等</p> <p>(5) 体験滞在・交流の推進 体験滞在型観光の促進 長期滞在型観光の推進[新]</p>	<h3>4 国内外の観光客受入体制の整備と誘客活動の強化</h3> <p>(1) 観光客受入体制の確保 観光産業人材の育成 沖縄観光の情報発信及び情報収集 多様なエンターテインメントの創出 県民の観光意識向上に向けた取り組み レンタカー観光への対応 観光のバリアフリー化の推進 外国人観光客を対象とした受入体制の整備 観光の安全安心対策の推進</p> <p>(2) 沖縄の宣伝と観光客の来訪の促進 イベント開催の支援及び情報発信 誘客プロモーションの展開(国内、海外)</p> <p>(3) 観光の利便性の増進 共通乗車船券の発行促進等</p>
<h3>3 コンベンション・アイランドの形成</h3> <p>(1) コンベンション等の誘致 MICEの推進[新] スポーツコンベンションの振興</p> <p>(2) MICE機能及び受入体制の充実 MICE関連施設の整備 同時通訳者等の育成</p>	<h3>5 産業間の連携の強化</h3> <p>(1) 観光土産品のブランド確立 観光土産品の商品開発及びブランド確立等</p> <p>(2) 観光関連産業と農林水産業との連携による地産地消の推進 地産地消の推進[新]等</p> <p>(3) 観光との連携による関連産業の振興 琉球エステ・スパのブランド確立への支援[新]等</p>

質の高い観光リゾート地の形成
将来の飛躍に向けた基盤づくり

H23目標:入域観光客数 720万人,観光収入 6,048億円

